

## 専門部会の進捗状況

令和2年7月30日

<b>部会名</b>	就職幸福都市まつやま発信事業部会
<b>代表団体</b>	公益社団法人 松山法人会
<b>代表者</b>	部会長：瀧上 悟
<b>進捗状況</b>	<p>○1月30日 えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会にて、令和元年度事業報告、令和2年度事業計画（案）を報告、各大学へ令和2年度事業内容の説明、協力依頼を行った。</p> <p>○5月18日「働きやすい職場づくり推進優良バンク（以下、バンクという）」登録を開始。</p> <p>○5月22日各大学にバンクへの情報提供依頼を実施。</p> <p>○バンク登録企業に対して、活動内容についてのヒアリング（電話）、両立支援、女性活躍に関する認証制度等の案内を行った。</p> <p>○7月9日バンク登録事業者（現在：29事業所）に対し、「職場の取組み動画」の作成を依頼。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各大学がオンライン授業を取り入れいていることなどから、各事業所の取組みを動画として取りまとめ、各大学に提供することとした）</p> <p>○令和2年7月22日 えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会にて、令和2年度事業計画についての説明、バンクへの各大学からの情報提供依頼、「職場の取組み動画」の活用依頼を行った。</p> <p>○8月中旬 動画作成（10社）についての打合せ会及び情報交換会を実施予定。（各社の情報交換、専門家による求人プロモーションへのアドバイスを実施予定）</p> <p>○9月下旬 各大学への「職場の取組み動画」を提供する予定。</p>
<b>円卓会議への共有事項</b>	新型コロナウイルス関連対応として、各大学への情報提供ツールの変更（オンライン授業が進んでいることから「職場の取組み」を取りまとめた動画を提供することとした）



## 【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 事業計画書

活動名	まつやま みっけふえ 「松山の暮らしやすさ」+「松山の働きやすい企業」を見つけ+カフェ		
部会名	就職幸福都市まつやま発信事業部会		
部会長・副部会長名	部会長 瀧上 悟		
代表団体名	公益社団法人 松山法人会		
構成メンバー	愛媛県若年者就職支援センター、松山商工会議所、 えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会、えひめ女性活躍推進協議会		
活動テーマ	ええ人育て		
活動項目	「条例の推進活動」および「調査・検証活動」		
活動詳細	現状・課題	雇用形態は多様化し、就職観も変化し続ける中で、中小零細企業は経営リスクとして労働力不足を認識しており、人材を確保し、維持するための更なる働き方改革と積極的で効果的な求人プロモーションが求められている。 また、依然として有効求人倍率並びに大企業への就職希望者は高推移しており、就職を機とした市外流出が拡大していくと予想される。	
	活動内容	<p><b>1. 学生の職業観を満たす「働きやすい職場づくり」を進める優良企業情報を学生に提供「仮）ワークライフバランス優良企業Bank」の創設</b></p> <p>(1) 一定の基準を満たした「働きやすい職場づくり」を進める優良企業（ワークライフバランス優良企業）のみが参加できる「仮）ワークライフバランス優良企業Bank」を創設。 * 優良企業の選定方法、実態調査ヒアリングは同様のものとする。</p> <p>(2) えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会に協力依頼し、各大学短大のキャリア教育授業等からの企業派遣依頼を受ける。「みっけふえ」プログラムの活用を推進する。</p> <p>(3) 企業派遣依頼に基づき「仮）ワークライフバランス優良企業Bank」へ依頼、派遣する。</p> <p><b>2. 働きやすい職場づくり企業への求人プロモーション支援（専門家派遣事業）</b></p> <p>働き方・休み方改革や社内風土づくり、女性の働きやすい職場づくり等を積極的に取り組んできた企業（ワークライフバランス優良企業）に対して、専門家（社会保険労務士等）を派遣し、今後、労働市場で勝ち残るための求人プロモーション支援を行なう。 ／ 10事業所程度× 5回程度 働きやすい職場づくり支援（制度づくり）に関しては、愛媛労働局、愛媛県や各支援機関の専門家派遣事業等と連携する。 支援企業は、「仮）ワークライフバランス優良企業Bank」を通して各大学短大のキャリア教育授業へ積極派遣を行なう。</p>	
	事業期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	
	事業費	1,569,669 円	
活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の 具体的な数値目標の 設定をお願いします。	<p>1. 「仮）ワークライフバランス優良企業Bank」の創設</p> <p>2. 「仮）ワークライフバランス優良企業Bank」の登録企業数 50社</p> <p>2. 求人プロモーション支援事業 ⇒社会保険労務士等の派遣 10 事業所程度× 5回程度</p>		

## 【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 収支予算書

### 1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘 要 (積算基礎等)
松山市補助金	1,500,000 円	
法人会負担	69,669 円	
	円	
	円	
合 計	1,569,669 円	

### 2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘 要 (積算基礎等)
人件費	520,800 円	日給7,000円×248日×1名×0.3 (業務按分割合)
人件費	85,000 円	法定福利費×1名×0.3 (業務按分割合) (雇用保険、労災保険、石綿救済法に基づく一般拠出 (概算))
人件費	14,760 円	通勤手当 4,100円×12ヶ月×1名×0.3 (業務按分割合)
旅費	22,200 円	訪問による車両交通費 (@37*50 k m*12ヶ月)
報償費	300,000 円	求人プロモーション支援事業 @5,000×10事業所程度×5 回程度 実態調査ヒアリング@5,000*10事業所
需用費	150,000 円	チラシ、広報誌等
需用費	120,000 円	消耗品@10,000*12ヶ月
使用料及び賃借料	94,212 円	パソコンリース代 (@16,000*12ヶ月) ×0.3 (業務按分割合) 事務所費@8,920*12ヶ月 (実績算出) ×0.3 (業務按分割合) 光熱費@15,000*1名 (実績算出) ×0.3 (業務按分割合)
使用料及び賃借料	120,000 円	郵便料、電話料 (@10,000*12ヶ月)
消費税	142,697 円	消費税10%
合 計	1,569,669 円	

## 専門部会の進捗状況

令和2年7月30日

部会名	はたらきかたワクワクプロジェクト
代表団体	特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ
代表者	部会長：堀田 真奈
進捗状況	<p>主体的な働き方改革の活動の場としての「まつやまワークワク部」が設立し3年目（活動最終年度）。一昨年の部員は63名、令和元年度は43名、令和2年度は32名で活動中（R2.7.29現在）。</p> <p>部員の主体的な活動を促すため、部員の持ち込み企画や部員発信の活動の引き出しや伴走を行い、前年度末から計画を立てていたものの、コロナの影響で部員企画のイベント（対面型）の中止などを余儀なくされた。しかしオンラインでのイベント開催など新たなコンテンツを取り入れ、動画配信サービス等を駆使して情報発信を止めない工夫や、部員同士の新たなつながり方にもチャレンジしている。</p> <p>オンラインイベントの参加が初めてという部員や、実際に動画編集スキルを身に付けたいという部員の声もあり、各社の働き方改革につながるサポートに今後も注力していく。</p>
円卓会議への共有事項	<p>5月より4回シリーズで「運動で仕事パフォーマンスを上げるプロジェクト」を開催している。当団体が令和2年度4月24日～5月17日に行った「テレワークに関するアンケート（回答者：愛媛県内で就業中の男女242名）」では、テレワークでのストレスの第1位は「運動不足」という結果であった。講師に元オリンピックマラソン選手の土佐礼子さんを招き、仕事効率・生産性パフォーマンス向上を目指して活動している。</p> <p>また、当初の計画には、昨年度講評であった働き方改革に関する映画を鑑賞し交流を図る「映画祭」を12月に開催予定していたが、コロナ対策を考慮したイベントの形を再考していく予定である。</p>



## 【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 事業計画書

活動名	変えようや松山! 働き方改革先進都市へ	
部会名		
部会長・副部会長名	部会長 堀田真奈	
代表団体名	特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ	
構成メンバー	松山商工会議所、ジョブカフェ愛work など	
活動テーマ	ええ会社づくり	
活動項目	「条例の推進活動」	
活動詳細	現状・課題	<p>主体的な働き方改革の活動の場として「まつやまワークワク部」を設立し3年目を迎えた。一昨年の部員は63名、令和元年度は42名で活動中（19.10.18現在）。部員数は減ったものの、本気で自社（自社）を変えていきたいと志すもの同士、お互いに刺激を受けつつ、次なる行動をおこそうとする動きも見えてきた。しかしながら、自社内で孤高奮闘している部員の実情も見受けられる。部活動のような社外での人間関係の築きが、個人の行動を促す（背中を押す）きっかけになっており、この場の必要性を感じる。現在はまだ部員自身が主体となって行動をし始める準備をしているといった段階で、部員の士気を下げないためにも、今後は部員が行動してことに事務局が伴走しつつ、部員同士切磋琢磨する場づくりを継続していくこと、働き方改革で改善できたことを見える化していくことが課題だと考えている。</p>
	活動内容	<p>【条例の推進活動】 まつやま働き方改革推進会議の分科会「まつやまワークワク部」の活動を事務局としてより具体化していく。 ※令和元年度の活動の振り返り 平成30年度と同じく入部者の属性は、経営者・人事採用・現場の方・フリーランス(個人事業者等)・公的機関と様々で、また入部目的も「会社を変えたい・自分自身を変えたい」という思いを持たれている方、「情報が得られたらいい」という消極的な姿勢の方、「どんな活動をしているのに興味があって」という方など色々な想いを持った方のコミュニティである。年度初めには年間スケジュールを作成し、個々のイベントに対しての対象者や目的（新規部員向けの企画、部員満足のための企画、部員の学びの場の企画など）を明確にして企画運営した。</p> <p>1. まつやまワークワク部の活動充実のための環境づくり  <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活のコンセプトや活動スケジュールリング、随時調整</li> <li>・WEBやSNSを使った定期的な情報発信</li> <li>・入部説明、入部に悩む方々への打診、フォロー</li> <li>・入部手続き事務（メールでのやり取り、請求書、領収書発行等）</li> </ul> </p> <p>2. まつやまワークワク部の主体的な活動促進  <ul style="list-style-type: none"> <li>・部員の持ち込み企画や活動の引き出しと伴走</li> <li>・部員などが話題提供者となって開催するワークワクBarの企画運営</li> <li>・部員個別への投げかけや必要に応じてのメンタリング</li> <li>・部員同士交流促進のための場づくり企画運営</li> <li>・協力団体等、他の協働者との企画、実施</li> </ul> </p>
	事業期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和3年 3月 15日
	事業費	1,500,000 円
活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の 具体的な数値目標の 設定をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●部員学びの場（部員のための勉強会）⇒開催回数5回、参加人数各回15名</li> <li>●部員交流の場（ワークワクBar）⇒開催回数10回、参加人数各回10名</li> <li>●部員アウトプットの場（印刷物作成もしくは情報発信のための集まり）⇒開催回数5回、参加人数各回15名</li> <li>●新規部員開拓の場（イベント開催）⇒開催回数2回、参加人数各回30名</li> </ul>	

## 【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 収支予算書

変えようや松山! 働き方改革先進都市へ

### 1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘 要 (積算基礎等)
活動費	1,500,000 円	中小企業振興円卓会議 (松山市補助金)
	円	
	円	
	円	
合 計	1,500,000 円	

### 2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘 要 (積算基礎等)
賃金	1,356,000 円	事務局担当者
旅費交通費	48,000 円	スタッフ移動費
通信費	36,000 円	3,000円×12か月
使用料及び賃借料	60,000 円	PC1台レンタル代5,000円×12か月
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合 計	1,500,000 円	



## 専門部会の進捗状況

2020年7月30日

部会名	人育ち応援部会（働き方改革・職場環境改善）
代表団体	愛媛県中小企業家同友会
代表者	部会長：中 周作
進捗状況	<p>新型コロナの影響を受けて働き方改革等も否応なしに求められウル中、zoom アプリを利用したオンラインセミナーで、働き方改革の一環としてテレワークをテーマに第4回シリーズで行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回目：5月20日(水) 13:30~15:00 講師：サイボウズ株式会社松山オフィス 久保正明氏 まつやま働き方改革推進会議緊急アンケート 「テレワークの状況に関するアンケート」の結果から見える現状 テレワーク実施にあたっての運用ガイドライン（ルール）について</li> <li>・ 第2回目：5月28日(木) 13:30-15:00 事例共有：石田クリーニング株式会社 清本有策氏</li> <li>・ 第3回目：7月9日(木) 13:30~15:00 内容：コロナ前とコロナ禍のテレワークの事例と変化、現状と課題 事例報告：(株)日本エイジェント、リアラン(株)</li> <li>・ まつやま働き方改革推進会議ホームページにワークライフ・コラボ様が活動状況について更新して頂いております。 <a href="https://matsuyamawork.com/event/969">https://matsuyamawork.com/event/969</a></li> </ul>
円卓会議への 共有事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下記、次回のセミナーとなりますので、円卓会議委員の方、また会員、取引先、関係者の皆さまに広くご周知ください。</li> <li>企業事例から学ぶ働き方改革！ 日時：9月10日（木）13:30~15:00 内容：テレワーク 企業事例2社、現状と課題 お申込みはこちら！ ▼タイムスケジュール 13:30~13:40 あいさつ 13:40~14:00 企業事例① NPO 法人ワークライフ・コラボ 14:10~14:30 企業事例② 株式会社サカワ 代表取締役社長 坂和寿忠氏 14:30~15:00 質疑応答 <a href="https://matsuyamawork.com/event/969">https://matsuyamawork.com/event/969</a></li> <li>・ テレワークテーマを終了後も継続して行います。次のテーマ・開催時期は未定ですが、検討中です。</li> </ul>



## 【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 事業計画書

活動名	転居女性の市内のワークシェアリング事業／働き方改革・職場環境改善セミナー事業	
部会名	人育ち応援部会	
部会長・副部会長名	部会長：中 周作	
代表団体名	愛媛県中小企業家同友会	
構成メンバー	愛媛県中小企業家同友会、特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ	
活動テーマ	ええ人育て	
活動項目	「条例の推進活動」	
活動詳細	現状・課題	<p>中小企業をめぐる経営環境は厳しいものがあり、愛媛同友会景況調査では昨年に引き続き経営上の課題・力点に「人手不足」の課題が第1位の回答で高止まり状態となっている。さらに、帝国データバンクの「働き方改革に対する企業の意識調査」によると、働き方改革に取り組んでいる企業規模別では「大企業」が75.7%で全体の60.4%を大きく上回る一方で、「中小企業」は56.7%、「小規模企業」は41.6%と全国的に未整備の状況がある。愛媛県内においても中小企業が整備すべき課題への啓発が必要であり、中小企業家同友会としては『働く環境づくりのガイドライン』が発刊され、経営者自身が基礎的力量として労務管理を学ぶことが全国的に方針化しており、今後の働き方改革の対応として職場環境改善・啓発セミナー（継続）事業に取り組む。</p>
	活動内容	<p>&lt;働き方改革・職場環境改善セミナー（継続）&gt;                  特定非営利活動法人ワークライフ・コラボと連携して、中小企業の大きな課題である求職者に選ばれるような魅力ある企業づくりに取り組む。                  開催時期：年4回から可能であれば最大6回程度で開催予定。6月ごろからの開始を見込む。                  開催場所：主に公共施設を利用。                  参加対象：県内中小企業経営者、人事担当者、一般参加も可。                  企画内容：中小企業経営者の職場環境改善の経営実践報告、自社への活用に向けて参加者のグループ討論を主とする。昨年度に同セミナーの参加者のその後の実践事例、全国の先進事例の登壇者も予定する。</p>
	事業期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日
	事業費	1,500,000円
活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の具体的な数値目標の設定をお願いします。	<p>&lt;職場環境改善・啓発セミナー（継続）&gt;                  ・中小企業自身の職場環境整備を進め、社員にとって働きがいとやりがいのある魅力的な職場づくりにつなげる。                  開催回数：4～6回、参加50社、参加人数のべ130～200名</p>	

## 【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 収支予算書

### 1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘 要 (積算基礎等)
活動費	1,500,000 円	中小企業振興円卓会議 (松山市補助金)
	円	
	円	
	円	
合 計	1,500,000 円	

### 2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘 要 (積算基礎等)
人件費	300,000 円	事務担当者の人件費
事務経費	80,000 円	事務に係る郵送費、消耗品費、会合諸経費等
報償費	360,000 円	セミナー講師謝金 (講師: @30,000円×6名) セミナー講師交通費 (講師: @30,000円×6名)
会場費	70,000 円	会場費 (プロジェクター設備、冷暖房費等含む)
通信費	20,000 円	チラシ等の案内郵送費
印刷製本費	50,000 円	チラシ、資料印刷費
旅費交通費	120,000 円	打ち合わせ会合のための交通費等の実費
委託費	500,000 円	セミナー委託費 ・人件費500,000円 ・セミナー会場費: 50,000円
合 計	1,500,000 円	

## 専門部会の進捗状況

2020年7月30日

<p><b>部会名</b></p>	<p>人育ち応援部会（転居女性のワークシェアリング）</p>
<p><b>代表団体</b></p>	<p>愛媛県中小企業家同友会</p>
<p><b>代表者</b></p>	<p>部会長：中 周作</p>
<p><b>進捗状況</b></p>	<p>・事業概要：松山市へ転居中の女性のネットワークをもつ会社（エルパティオ(株)〔松山市〕）と連携して、人材不足の中小企業と転居女性のスキルをマッチングして委託・請負業務によるワークシェアリング事業を行う。</p> <p><a href="https://www.aroma-elpatio.com/">https://www.aroma-elpatio.com/</a>（エルパティオ(株)ホームページ）</p> <p>・現在実績1例：NPO法人家族支援フォーラム（松山市姫原）で長らく課題だったホームページ開設について、ママネットワークの女性からアドバイスされることで、開設を実現した。</p> <p>ホームページURL：<a href="https://www.kazoku-yumepoke.com/">https://www.kazoku-yumepoke.com/</a></p> <p>・今後は広く中小企業に本事業を知らせるために、ヒアリング会、説明会を行っていく方向としたい。そのため、現在はまずは中小企業にママネットワークにいる転居女性らの持つスキル・強みを分かりやすく提示して貰うために、8月上旬をめどにエルパティオ(株)より過去の活用成功事例（新商品開発、マーケティング、ホームページ開設、SNS発信、事務系など）を5事例ほど準備して頂くこととしている。</p>
<p><b>円卓会議への共有事項</b></p>	<p>・中小企業向けのヒアリング会については、円卓会議委員の方などにも見学もしくは参加を呼びかけたい。時期・日時が決まったら、随時案内する。</p>



## 【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 事業計画書

活動名	転居女性の市内のワークシェアリング事業		
部会名			
部会長・副部会長名	部会長：中 周作		
代表団体名	愛媛県中小企業家同友会		
構成メンバー	愛媛県中小企業家同友会、特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ		
活動テーマ	ええ人育て		
活動項目	「条例の推進活動」		
活動詳細	現状・課題	<p>中小企業をめぐる経営環境は厳しいものがあり、愛媛同友会景況調査では昨年に引き続き経営上の課題・力点に「人手不足」の課題が第1位の回答で高止まり状態となっている。今後も深刻な人材不足の課題が予測される中、松山市内においては配偶者の転勤で市内在住の女性等には一定のスキルがありつつも、子どもの預け先等がないために就労に至っていない例が多い。こうした、いままでの延長線上にない人材確保に着目したとり組みが必要である。</p>	
	活動内容	<p>&lt;転居女性の市内のワークシェアリング事業（新規）&gt;                      (1) 市内中小企業によるママネットワーク内でのニーズヒアリング（委託先が実施）                      市内中小企業（エルパティオ(株)）を委託先として連携して、その既存のママネットワーク内で、都合の良い時間に仕事をしたいという女性のスキルを把握し、請け負うことのできる業務について情報を共有する。女性のスキルは総務・経理、広報、営業、マーケティング、保育、ITなど多岐にわたる。                      開催時期：4月～                      開催場所：えひめママハウス（松山市北土居3丁目2-25）                      対象：えひめママハウス内でのママネットワーク登録の女性のうち、松山市外から転入してきた無業女性</p> <p>(2) 愛媛県中小企業家同友会の会員企業からのアウトソーシング                      人手不足の市内企業から、(1)の女性が請け負うことが出来る業務をアウトソーシングする。企業側はアウトソーシングできるように業務を細分化して委託業務を切り出すことなどを通じて、自社の整備・業務改善・見直しとしても位置づける。                      開催時期：早ければ4、5月ごろから                      開催場所：愛媛県中小企業家同友会 松山支部                      対象：松山市内の人手不足に悩む会員企業</p> <p>(3) えひめママハウス内でのワークシェアリング（委託先 エルパティオ(株)が実施）                      (2)の請負業務を(1)の女性が完了。えひめママハウス内での一時保育所を利用、もしくはママ同士で子どもを見るなど、子連れでも業務ができる環境で時間に縛られない働き方で実施。                      開催時期：4月～                      開催場所：えひめママハウス                      対象：えひめママハウス内でのママネットワーク登録の女性のうち、松山市外から転入してきた無業女性</p>	
	事業期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	
	事業費	500,000円	
	活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の具体的な数値目標の設定をお願いします。	<p>&lt;転居女性の市内のワークシェアリング事業&gt;                      ・転居女性のスキルを活用することで、人材不足を解決すること、また、中小企業の弱点でもある広報部門、IT活用とその運用などで自社整備できることを見込む。数値目標は10社以上、最大20社程度のマッチングを目標とする。                      ・さらに、企業側は転居女性に委託するに際して、アウトソーシングできるように業務を細分化して委託業務を切り出すことなどを通じて、自社の整備・業務改善・見直しとしての効果も得る。</p>	

## 【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 収支予算書

### 1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘 要（積算基礎等）
活動費	500,000 円	中小企業振興円卓会議（松山市補助金）
	円	
	円	
	円	
合 計	500,000 円	

### 2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘 要（積算基礎等）
委託費	500,000 円	転居女性ワークシェアリング事業委託費 ・人件費・交通費等の諸経費：500,000円
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合 計	500,000 円	